

どーらく 改題 土楽たより

断捨離考

6月号(N098)

2018年6月10日(日)発行(毎月10日)

【農暦】水田の景色も良い!

○田植えの終わった水田が広がる景色はいい。水田は間もなく緑の絨毯へと変容する。笠間への移動時の車窓からの眺めはいつもながらだが良い。心配事でいっぱいな気持ちが安堵していくように感じる。今年もこの景色に出会えたことが単純に嬉しい。現役時、出張で車窓から見た水田の景色が思い出される。今思えば、この景色から農的生活へ想いが膨らんで来たように思う。車窓からは耕作放棄された水田も見られた。補助金漬けと儲かる農業に揺れる農政が背後に見え隠れする。かつては、水田が粟田と重なって見えた時もあった。“明るい農村”は暗くなるばかりである。と思った。政治が大事にするものが違って来てしまったような気もする。耕作放棄の水田の姿を見ると寂しくなる。今年も何か所か増えている。限りなく寂しい。新緑に覆われた道も良いが水田の景色も良い。大事にしたい景色である。



＜田植え間もない水田＞手賀沼のジョギングコースから。16日撮影

○ツル無しインゲンが実を付け始めた。相当の量になりそうである。そのままにして豆で食べるの良いと教えられたので半分はそうしたいと思う。トマトも胡瓜も実が大きくなり始めて来ている。収穫を楽しみたいと思う。最優先は除草と決めている。耕作放棄の水田の景色と同じものをこの畑では見たくない。

“菜園の初心”に戻すのはもう少し時間が掛かりそうである。

○じゃが芋、ほうれん草の生育が悪い。土がやせて来ているように見える。堆肥の引き込みなどしたいと思う。一度荒れた畑は草の繁茂が早い。こまめに除草したいと思うが中々出来ない。気力、体力は思ったよりない。それに農作業にさく時間が意外と少ない。断捨離も一気には行かない。

○“「わあー、もう芽がでてきているよ!」「ほら見て。レタスが1週間でこんなに大きくなっている!」年端も行かない子供ならいざ知らず、いい年をした大人、しかも60歳を過ぎた私より年配の人が、キラキラと瞳を輝かせ、無邪気にはしゃいでいる。”と新聞にあった。菜園の初心は、これに近いものがあつたのだと。心の乖離が怖くなった。(了)

【菜農】夏野菜の定植などつづけて!

＜畑A＞とうもろこし、みどり茄子、落花生の植込みなど。小松菜、絹さやの収穫など。

<ハウス>特なし*周辺の草刈り。*栗の木の毛虫再発生駆除断念。

【楽市】イベント交流・直売な。

○イベントなど；男女共同参画総会(26日)共生つばさの会(7日)川柳の会(7日)吟連県西大会(10日)に参加など。

【つぶやき=Tweet】独身中高年の6人に1人が無職だと！

○NHKスペシャルで「ミッシング・ワーカー、働き盛りが働けない」親の介護が引き金に、非正規、中高年の苦難(2日)を見た。“働き方改革法案”の国会採択のニュースを見て間もないのでショックが大きかった。周りを見ているとまともな家庭(まともの定義がある訳でないが)がないと社会が壊れて来ていると日頃思っていたので、それを目の当たり見せられたような思いがした。一億総活躍社会、少子化対策、婚活などの文言が空しく聞こえて来る。そ

して働き方改革(法)が怖いものを感じてしまう。労働基本法の改革(改悪)から問題の始まりであると思うからである。40代・50代は人生の絶頂期である筈である。

○“40代・50代の「失業者」の数は72万人。一方、専門家の推計で「ミッシング・ワーカー」は103万人に上る。背景には、非正規労働の急増がある。非正規労働者は転職を繰り返すうちに、低賃金かつ劣悪な仕事しかなくなり、転職に失敗すると、八方ふさがりの状況に陥る。中高年になると病気や親の介護など、様々なことから転職につまずき、その結果、労働市場から排除された状態が長く続き、「ミッシング・ワーカー」となってしまうのだ。さらに深刻なのは、独身中高年が増えていることだ。40代・50代の独身中高年は、650万人。親の年金などに依存していると「消えた労働者」の問題が見えにくく、支援が行き届かないまま事態が深刻化するケースが続出している。番組では、「ミッシング・ワーカー」の実態に密着ルポで迫るとともに、解決の糸口を探る。”とネットで紹介されていた。引用が長くなったが、独身中高年の6人に1人が無職だという。いつ我が身にとすると不安になる。

○江戸中期の経済成長率は世界トップクラスであった。江戸には100万人住んでいたと云う。そこには金持ちが作ったセーフティネットがあったという。今の日本にはない。これなくして少子化も、経済成長もない。あるのは不安だけである。日々のニュースが示している。またも重いものに。歓楽せよ(白居居)で行きたい。

【後記】梅雨に紫陽花、みどりが瑞々しい。笠間に、Kogure農場にお越し下さい。

【特に編集せずランダム構成にする】



<ドクダミ>花言葉は“白い追憶”シンプルが。3日撮影



<居酒屋>縄のれんの似合う店で、元会社OBと。28日撮影

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

メール；torao-k@nifty.com

HP；kogure農場

<http://ayaharu.my.coocan.jp>